

大阪大学グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」
「諸価値のコンフリクトと妥協に関する民族誌的研究プロジェクト」シンポジウム

共催：京都人類学研究会（12月季節例会）

経済人類学の新基軸

「社会に埋め込まれた経済」から問い直す

現代の世界で「経済」について人類学的に研究するとは、どういうことなのか？
古典的な経済人類学の柱となってきた「社会に埋め込まれた経済」という概念を
ひとつの切り口として、新しい「経済人類学」の可能性を議論する。

日時：12月15日（土） 13:30開場 14:00開会

場所：京都大学吉田南キャンパス 総合人間学部棟1階1102

プログラム

14:00-14:10 シンポジウムの趣旨説明 松村圭一郎（京都大学大学院人間・環境学研究科）

14:10-14:50 森田敦郎（東京大学大学院総合文化研究科）

実践への埋め込みから集合性の組み立てへ

－ アカウンタビリティ、装置と経済化のプロセス －

14:50-15:40 深田淳太郎（一橋大学大学院社会学研究科）

経済としての儀礼とそうではないものとしての商売

－ 貝貨の使い分けに見る交換実践の区切りと交換カテゴリーの生成 －

15:40-16:00 休憩

16:00-16:50 山崎吾郎（大阪大学CSCD／日本学術振興会特別研究員）

擬制としての贈与

－ 臓器移植医療における人体の経済 －

16:50-17:10 コメント 中川理（大阪大学GLOCOL）

17:10-18:00 総合討論

【備考】

*事前の参加予約は必要ありません。

*当日は、資料代として200円をいただきます。

*どなたでも自由に参加いただけます。

